

# 平成27年度 第23回九州ブロック身体障害者相談員研修会 鹿児島大会 開催



発行所  
 社会福祉法人  
**鹿児島県  
 身体障害者福祉協会**  
 鹿児島市小野一丁目1-1  
 ハートピアかごしま3階  
 電話099-228-6271  
 発行人 佐藤 彰 矩  
 かんぎ 第147号

1月28・29日に第23回九州ブロック身体障害者相談員研修会が鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開催され、九州各県・政令指定都市から555名の参加がありました。

今年度は九州身体障害者福祉大会が開催されないことから、研修会の開催前に、九州身体障害者団体連合会会長表彰を実施しました。本県からは、浅井重己氏が組織活動功労賞を受賞。「本日の賞を機にさらに障害者福祉の向上のためにがんばりたい」と受賞者を代表し謝辞を述べられました。

来賓祝辞の後、「障害者差別解消法の施行について」というテーマで、厚生労働省社会援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室長補佐の八木澤智之氏による講演がありました。本年4月に施行される「障害者差別解消法」について、スライドを使って詳しく説明されました。特に、合理的配慮につ

いては、具体例を挙げながら解説されました。

その後、シンポジウムが開かれました。事例発表では、長崎県の板山相談員は、町内のスーパーマーケットの手動の出入り口を自動ドアに替えてもらえないか、他の相談員と連携しながら訴え、調査し実現した事例を紹介しました。

大分県の河野相談員は、高齢化が進む身体障害者について、外に出たがらないことや相談することもないという消極的な意見が多い中、電話をしたり訪問することで信頼関係を築いているという取り組みについて話されました。

鹿児島県の信島相談員の事例は、離島地区ならではの不便さがある中、年に1回の研修会を行っているという活動について報告。障害者相談員業務が県から市町村に移譲され、個人には委託しない市町村が出てきていることへの危惧と、相談は全体的に時間をかけて、ゆっくり確認しながら解決していくものだ」と説明されました。

助言者は、身体障害者の高齢化がほかの知的障害や精神障害に比べて突出していること、鹿児島県では身体障害者の高齢率は72%にも上るといふ情報を提供。さらに、現在、各地に相談支援センターが設置されてきているが、こういったセンターは受け身の体制。一方、障害者相談員は訪問形の積極的支援ができる存在で、それぞれ連携して問題解決につなげていくことが望ましいとのアドバイスがありました。会場内からも熱心な質疑が行われ、意義深いシンポジウムとなりました。

翌日は、「聴く」ということと相談者といかに向き合うか」と題して、鹿児島いのちの電話運営委員長で鹿児島大学名誉教授の平川忠敏氏による講演が行われました。

ご自身が今まで受けられた相談の事例や体験を分かりやすい言葉で紹介。相談員の相談に対応できるスーパーバイザーの存在がいかに重要かや、相談者の本音を引き出すコミュニケーションの方法など、会場の相談員は熱心に聞き入っていました。

その後、日本身体障害者団体連合会の活動報告、全国身体障害者相談員協議会の活動報告がなされ、次期開催県の長崎県の挨拶がありました。

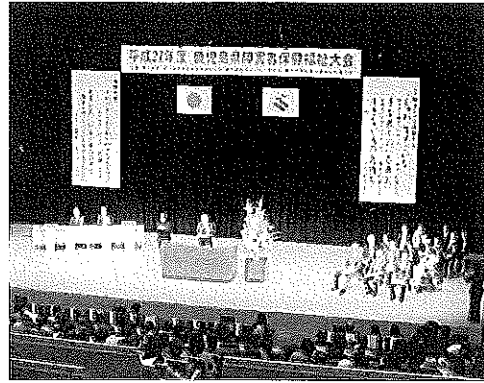
来年度から、九州身体障害者福祉大会と九州ブロック身体障害者相談員研修会が同時に開催されることになっています。

来年は平成28年11月17・18日に長崎県で開催されます。

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させていただきます。

# 平成27年度鹿児島県障害者保健福祉大会 Ⅱ 五百人の当事者集うⅡ

平成27年度鹿児島県障害者保健福祉大会が、平成27年11月27日に鹿児島県民交流センターで開催され、県内から約500名の障害者やその家族等が集いました。



## 【鹿児島県知事表彰者】

- ・障害者自立更生部門  
いちき串木野市 入 枝 慶 二  
錦江町 郷 原 正 義  
南大隅町 二 階 卓
- ・障害者更生援護部門  
鹿児島市 神 戸 恵 子  
鹿児島市 寿 福 三 男  
錦江町 貫 見 憲 志
- ・感謝状  
指宿市 指宿ライフサポート

## 【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

- ・自立更生の部  
鹿児島市 假屋原 伸  
鹿児島市 幸 福 隆 夫  
鹿児島市 横 峯 幹 夫  
薩摩川内市 勝 田 敏 夫  
薩摩川内市 新 原 信 一  
日置市 宇 都 典 子  
・更生援護の部  
鹿児島市 岩 下 洋 子  
鹿児島市 窪 田 盛 溜  
枕崎市 恒 吉 輝 正  
薩摩川内市 大 塚 輝 正

今回は、同会場で行われる第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会との関連で、午前中に、講演を省いた日程で実施されました。

大会は、知事表彰・団体長表彰に引き続き、鹿児島市の川上裕美氏らが自らの体験を発表。小学生から一般の部で選ばれた体験作文を本人が読み上げました。最後に、大会宣言が満場の拍手で承認され、大会は幕を閉じました。

- 薩摩川内市 中津濱 咲子
- 曾於市 竹之内 信義
- 霧島市 石 原 和 子
- さつま町 飯屋原 末 廣

## 全スポがごしま大会へ 障害者スポーツの理解すすむ

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が主催する障害者スポーツ理解促進フェスティバル「パラスポ2016 in かごしま」が、平成28年1月30日、ハートピアかごしまで開かれました。

この事業は、地域住民やスポーツ関係者、教員といった障害者スポーツに日頃かかわりの少ない人を対象に、体験等を通して障害や障害者スポーツへの理解を深めることが目的。文部科学省の委託を受け、同協会と開催県の諸団体が連携し、全国8か所で実施するものです。2020年に全国障害者スポーツ大会開催を控える本県が打診を受け、九州地区のさきがけとして開催することになりました。プログラムは午前中に講習会。午後からは、全国障害者スポーツ大会実施種目と実施予定種目から5競技の体験会が実施されました。



バスケットボール用車椅子は子どもにも大人気

前半は知的・発達障害の概論に加え、阿部先生の勤務先での指導の様子を動画で紹介されました。楽しい遊びの中にトレーニングの要素が組み込まれ、興味深く、新鮮味溢れる内容でした。終盤には新聞紙を使った軽運動の実技があり、工夫とパリエーションの豊富さに驚かされました。動画でも紹介された風船ゴルフで講習会は終了。受講した教員からは「すぐに授業で使いたい」という声が聞かれるなど、解りやすく、指導の参考になった講習会でした。

午後からは、全国障害者スポーツ大会実施種目である車椅子&知的障害バスケットボール陸上競技の種目で旗門を通過しタイムを競うスラローム、音を頼りにボールを打ち合う視覚障害者向け卓球のサウンドテーパーテニス、フライングディスク、今後導入が検討されているボッチャを準備し、来場者を待ちました。

目玉であるバスケットボールは、参加した小学生に大人気でした。テレビでしか見たことがないバスケットボール用車椅子に乗り、パス、ドリブル、シュートに挑戦。見た目以上に難しい動作を体験し、競技に対する理解が深まりました。

各体験会場でスタンプをもらいクイズに全問回答した参加者は「パラスポマスター認定書」とともにオリジナルクリアファイルと障害者スポーツ情報の冊子が手渡され、満足気に会場を後にしました。

講習会を含めた参加者は約200名。スタッフは104名に達しました。障害者スポーツの魅力が伝わり、2020年の「全国障害者スポーツ大会かごしま大会」を知らしめる第一歩のイベントとなりました。

# 大盛況！あったか交流フェスタ2016

各種イベント、スポーツ・文化教室等の体験を通して、障害者と県民が触れ合いながら、ハートピアがごしま、あるいは障害者についての理解と関心を深めることを目的として、平成21年度から開催しています。

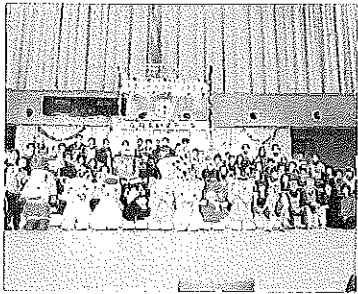
今回の来館者は約1111人。メイン会場の体育館、二階トレーニング室、エントランスホールなど多くの方でにぎわいました。

かごつまゆるきやらが遊びにきてくれ、ステージだけでなく各コーナーの手伝い、ふれあい握手会などで、イベントを盛り上げました。

【ふれあいステージ】  
司会は、おなじみ苑とも子さん。今年も楽しく機転の利いたおしゃべりと心む歌声に魅了されました。

交流センターのスポーツ・文化教室に意欲的に参加しているこひつじ園。音楽を愛する施設長のリードで、心に響く歌とハンドベルを楽しくこやかに演奏してくださいました。

今年も幼稚園から一般のメンバー140名で構成するエクセルバトン鹿児島のバトントワリング。アンスリウムフラの優雅な



は開は2016年2月4日(日)に開催された交流フェスタ2016です。

品、陶芸、農産物、加工食品など24の出店がありました。

## 【縁日・キッズコーナー】

動物的あて、ポッチャターゲット、キャンデイすくい、バリンアートを楽しんでもらいました。また、エントランスでは、香り漂うわたがし、ポップコーンの縁日コーナーがにぎわっていました。

参加協力してくださった個人団体、裏方として職員をサポートしてくださったボランティアの皆さんの惜しみないご協力のもと、今年度もあったかイベントを開催することができました。心より感謝申し上げます。

「あったか交流フェスタ2016」をお楽しみに！

## 本県選手団躍進！

### メダル40個獲得&グラ ンドソフトは準優勝

第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」平成27年10月24日から26日、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が、和歌山県で開催されました。本県は82名(介助者を含めると97名)が代表選手団として参加しました。和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場で行われた開会式では、

好天の中、小城親治団長を先頭に本県選手団が堂々と入場行進。



小城団長を先頭に本県選手が入場

式典ではご臨席された皇太子殿下が「2020年の東京パラリンピックに向け、障害者スポーツがより一層発展するとともに、障害者に対する理解がさらに深まることを希望します」と選手にお言葉を掛けられました。開会式が終わると、競技ごとの会場に場所を移し、大会がスタートしました。

健闘。卓球は、尾崎友直選手(鹿児島市)と高田宗俊選手(障害者就労センターみらい)の金メダルに続き、出場選手が全員メダリストに輝きました。フライングデイスクは年々レベルが上がり、メダル獲得は至難と言われる中、種子田千博選手(霧島市)がデイスタンスで銀メダルに食い込みました。一方、例年格の違いを見せつけられていたボウリングでは、出場した二選手とも銅メダルを手にする快挙を見せました。

団体競技は、ブロック予選を制した本県のグラウンドソフトボールチームが九州代表枠で参加しました。初戦、地元和歌山県をサヨナラ勝ちで下した本県は、準決勝で昨年の同大会で敗戦した東京都と対戦。息詰まる投手戦の行く末は、初戦に続くサヨナラ勝ちで、見事、東京都に雪辱しました。決勝は強打の広島県に完敗でしたが、若手選手の活躍が光った価値ある準優勝でした。

個人・団体競技を合わせ、本県の獲得したメダルは40個(金18個、銀12個、銅10個)を数えました。

大会は10月26日に幕を閉じ、来年度大会を開催する若手県へ大会旗が引き継がれました。

平成27年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

平成27年度の賛助会員として多数法人・団体に加入していただきました。  
ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。  
社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 会長 佐藤 彰 矩

(順不同 敬称略)

平成28年2月1日現在

団 体 名	団 体 名
泉原リウマチ内科クリニック	鹿児島サンロイヤルホテル
医療法人愛育会 愛育病院	株式会社 鹿児島銀行
医療法人愛徳会 上村内科クリニック	株式会社 フレイスコーポレーション
医療法人猪鹿倉会 パールランド病院	株式会社 山形屋
医療法人回生会 生駒外科医院	株式会社 ヨネザワ
医療法人潤愛会 鮫島病院	九州労働金庫 鹿児島県本部
医療法人神護庵じんごあん整形外科内科クリニック	楠元商会
医療法人天人会 鹿児島こども病院	黒木印刷
医療法人鶴丸会 鶴丸歯科医院	公益社団法人 鹿児島県看護協会
公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	三幸商事株式会社
公益財団法人東風会 三船病院	社会福祉法人 ひまわり会 わかまつ園
社会医療法人 緑泉会	中原保険事務所
西内科循環器科	南国殖産株式会社
株式会社 北義肢製作所	名鉄観光サービス株式会社 鹿児島支店
株式会社 中礼義肢製作所	日本ガス株式会社
株式会社 ミナヨシ	有限会社 アート印刷
有限会社 中央医科器械	有限会社 KAJA
鹿児島県行政書士会	リコージャパン株式会社鹿児島支社
鹿児島県PTA連合会	

計37法人・団体

行 事 予 定

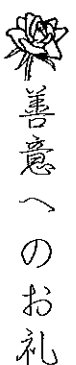
- 平成28年度
- 5月15日(日) 第10回県障害者スポーツ大会 (鹿児島市)
- 5月11日(水) 12日(木) 第61回日本身体障害者福祉大会 (京都府)
- 7月13日(水) 県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 (霧島市)
- 8月10日(水) 県身体障害者ゲートボール大会 (霧島市)
- 10月22日(土) 24日(月) 第16回全国障害者スポーツ大会 (岩手県)
- 11月16日(水) 県障害者保健福祉大会 (県民交流センター)
- 11月17日(木) 18日(金) 第47回九州身体障害者福祉大会
- 第24回九州ブロック身体障害者相談員研修会 (長崎県)
- 12月4日(日) 「あつたか交流フェスタ2016」(ハートピアかごしま)

寄 付

平成27年12月  
株式会社 本坊商店 様

平成28年2月  
MBC開発株式会社 様

身体障害者福祉の向上のため  
に有効に活用させていただきました。  
ありがとうございます。



パソコンでお困りのことないですか?  
～プロがマンツーマンで指導します。～

実施日：第1・3木曜日の午後  
時 間：一人概ね1時間  
場 所：ハートピアかごしま 3階  
相談内容：パソコン(ワード、エクセル、メール)の  
操作、インターネット、デジカメ画像の加  
工など  
相談できる人：障害者手帳等をお持ちの方で、中学生  
を除く15歳以上の方  
相談料：無料(予約制です)  
※視聴覚障害者のご相談には、協会職員が対応する場  
合があります。  
※重度障害等で外出困難な方には、自宅での相談に応  
じることもできます。(離島地域は除く)

【問い合わせ先】～お気軽にお電話ください。  
〒890-0032  
鹿児島市小野1丁目1-1  
ハートピアかごしま3階  
鹿児島県身体障害者福祉協会 総務課  
電話 099-228-6271